

ゆうこう便り

発行:北口雄幸事務所
士別市東7条9丁目
Tel0165-22-3100
fax0165-23-4356

ふるさと

元気な郷土めざし

新年を迎え決意新たに!



皆さまに
おかれまし
ては、輝か

しい新年をお迎える事と心
よりお喜び申し上げます。

昨年12月に行われた総選

挙では、安倍政権に三分の
二を超える議席を与える結
果となり、不安と同時に平
和の危機を感じています。
しかし、私たちの住む北
海道6区では、佐々木隆博



さんが2年ぶりに議席を奪
還するなど、民主党への信
頼回復が出来つつあると思
っております。

人に投資する政策を

北海道経済は、依然とし
て厳しい環境を抜け出すこ
とができず、加えてアベノ
ミクスによる円安の悪影響
で負担だけが増え、民主党
の党是である『人に投資する
政策』を具体的に進めてい
く必要があります。

米価下落に悲鳴

また、昨年の稲作につい
ては、豊作基調であったに
もかかわらず、戸別所得補
償が半減され、さらに米価

が大幅に下落したことから
農家の皆様からは、悲鳴の
声が寄せられ、戸別所得補
償制度の法制化を目指して
いかなければなりません。

一方、畑作については、
五年ぶりにてん菜が豊作と
なり、基準糖度の見直しも
なされたことから、一定の
所得の確保が見込めました。
そのような中、TPPに
ついては、農業はもとより、
さまざまな分野での影響が
多大であることから、即時
撤退を求めていかなければ
なりません。

一次産業の振興を

私の政治信条は、「地域で
頑張る人が報われる社会の

実現」であり、私は現在、
会派及び民主党北海道の副
幹事長、さらに農政議連及
び林活議連の役員として、
北海道の農業をはじめとす
る一次産業の振興を図るこ
とが、地域創生につながる
ものと確信しております。

北海道は、可能性豊かな
地域です。道民の知恵と工
夫を組み合わせることによ
り、もっともっとたくまし
い地域に飛躍できるものと
思っており、その為にも私
は、人を大切にし、一人ひ
とりの発想や想いを受け止
めることができる政治家を
貫き、これからも頑張る決
意です。

北海道議会議員 北口雄幸

北口雄幸のプロフィール

- 1956年(昭和31)8月25日農家の4男坊として生まれる。
- 士別市立大和小学校、上士別中学校を卒業。
- 1972年、士別高校入学と同時にレスリングに没頭。3年では主将を務め、高校選手権北海道大会では56kg級で準優勝。
- 1975年、高校卒業と同時に士別市役所に勤務。林務課、市立病院医事課、市民課、建築課住宅担当などに勤務。この間、自治労士別市職労及び自治労旭川地区本部の専従役員として労働運動に参加。
- 2006年3月、31年間勤務した市役所を退職。同年4月の士別市議会議員選挙では、1,365票を獲得してトップ当選を飾る。
- 2007年4月の北海道議会議員選挙(上川選挙区)に挑戦。初陣で27,454票を獲得しトップ当選。
- 2011年4月の道議選挙では、無投票当選で2期目を飾る。
- 現在、民主党・道民連合会派及び民主党北海道の副幹事長。超党派の農政議連及び林活議連役員として、一次産業の振興を図る。

第四回定例道議会報告(11月26日~12月19日)

総選挙で日程変更

今定例会は、衆議院総選挙が、12月2日公示、14日投票の日程で実施されたことから、一般質問を終了した時点で休会し、総選挙終了後に予算特別委員会での質疑を再開する変則的な日程で行われました。

日銀による大規模な金融緩和策によって、株高と円安ばかりを誘導する安倍政権のいわゆるアベノミクスが本道をはじめとする地域に打撃を与えていることに



電気料金再値上げの影響などを質問(11月6日)

ついて、知事は「景気回復が実感できないとの声がある」などと、ひずみが生じていることを認める答弁は行いましたが、それに対する具体的な対応については「地方の消費を喚起する経済対策が必要」などと述べるところとまりました。

主体性ない知事答弁

このほか、原発再稼働や大間原発への対応等のエネルギー政策、地域政策と人口減少対策、新幹線の本道乗り入れに伴う対応、観光

振興対策、カジノ誘致への対応など、山積する重要課題への議論を展開しましたが、今定例会でも知事からは、「国の対応待ち」ばかりで、道としての主体性が見えない答弁が続きました。

補正予算に137億円

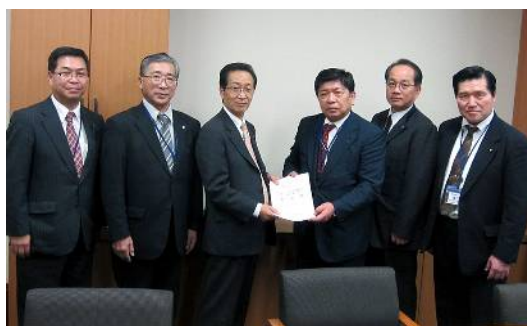
可決された補正予算は、電気料金再値上げに伴う緊急対策事業費など一般会計135億7300万円、特別会計1億5100万円。これで、26年度道予算は、一般会計2兆7446億円、特別会計6133億円の合計3兆3579億円となりました。

北口雄幸道議は、11月5日の総合政策委員会において「人口減少問題への対応について、11月6日の産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会では「電気料金の再値上げについて」の質問を行い、その結果、高齢者等の冬の生活支援事業の市町村への限度額が拡

充され、電気による暖房も支給の対象となりました。

会派及び林活議連で

中央要請実施



道農連から佐々木隆博衆議への要請に同席

北海道議会民主党・道民連合議会では、総選挙後の12月25日、来年度の国費予算編成等への提言・要望活動を行いました。

今回の要請では、総務省に対し『地方財政の充実・強化』、経済産業省に対しては『エネルギー政策』、農林水産省には『TPP』及び『農林漁業の再生、農山漁村の活性化』、厚生労働省には『雇用ルール』などについてです。

また、前日の24日には、北海道森林・林業活性化議員連盟(道林活議連)の役員として、「森林整備加速化・林業再生基金」の継続または恒久的な制度を求めました。

採択された決議・意見書

- ▼少人数学級の取り組みの充実・強化及び教職員定数の改善等を求める意見書
- ▼若者の「使い捨て」が疑われる企業等に対する指導監督等の強化を求める意見書
- ▼外形標準課税の中小企業への適用拡大時期等について慎重な判断を求める意見書
- ▼農業委員会改革に関し慎重な議論を求める意見書
- ▼私立専修学校に関する新学校種の創設と財源措置に関する意見書
- ▼将来にわたり安全・安心な医療制度の提供を求める意見書
- ▼日ロフェリー定期航路の存続支援を求める意見書
- ▼地域雇用政策に関する施策の充実・強化を求める意見書
- ▼農協系統組織の自己改革を十分尊重すること等を求める意見書

写真で振り返る北口道議の活動記録(10月~12月)



天草エアラインを視察調査(10月16日)



富良野土地改良区の皆さんと記念撮影(10月11日)



朝日水力発電所を山谷副知事に要請(10月29日)



サンダム本体工事着工記念祝賀会(10月26日)



士別農民連盟が道議会訪問(11月25日)



枝野幸男民主党幹事長を囲んで昼食会(11月3日)



林活議連役員として中央要請(12月24日)



北海道功労賞贈呈式に出席(12月16日)



天塩川塾忘年会(12月26日)



さっぽろ市士別ふるさと会(11月1日)

北口ゆうこう道政便り

<http://y-kitaguchinet/>

北口道議の奮闘ぶりをブログから抜粋して紹介します。(10月～12月分)



奥山町長と西本組合長と記念撮影

◆10月12日【パンプキンフェスティバル】▼「わっさむパンプキンフェスティバル2014」では、ジャンボ南瓜の共励会や農産物の販売、試食コーナーなど、多くの皆さんで賑わっていた。また、奥山盛和寒町長にご案内いただき、ペポカボチャの活用を進める北海道の担当者や業者の方と意見交換。ペポカボチャの種で食

用や薬用への活用が期待されている。また、ヨーロッパでは、前立腺の病気等の効能があると言われているが、日本では薬事法がその効能書きを認めていないことから、これらの見直しも課題であるという。今後、かぼちゃと越冬キャベツなど、ユニークな取り組みを進める和寒町をしっかりと応援したい。



受賞された皆さんと記念撮影

◆11月3日【富良野市表彰式】▼平成26年度の富良野市功労・貢献表彰式では、3名が功労表彰され、2名が貢献表彰を受けられた。私からは、「これからの人口減少社会では、皆さんの知恵が左右する。これからも

富良野市の発展に努力して欲しい」と挨拶させていただいた。なお、今回受賞された方は次のとおり。

【功労表彰】

児島應龍氏(自治功労)

宇佐美正光氏(自治功労)

佐伯勝利氏(教育体育功労)

【貢献表彰】

黒須勝美氏(地域自治)

阿部享氏(公共の福祉増進)

◆11月11日【玉川水道水源調査】▼美深町の玉川水道管理組合は、美深町から指定



美深町の玉川水道水源を調査

その機能が低下していることにより、河川の増水時などでは濁る現象が起る。ことから、その原因となる砂防ダムなどを調査してきた。この砂防ダムは、20年以上も前に建設され、土砂が堆積し、落下する水を受けると蛇籠も老朽化していた。現地調査後は、役場及び砂防ダムを管理する道の出先機関を訪問し、地域の声を伝え、現地調査とその対策を要請してきた。



吹雪の中の「復活!朝日商店街」

◆12月21日【復活!朝日商店街】▼『朝日町の昭和のにぎわいを取り戻そう!』と、「復活!朝日町商店街」のイベントが開催された。この日は、あいにくの吹雪模様であったが、町内商店による売り出しや道沿いの空き店舗を利用(復活)し、町内各団体や町外事業所による臨時営業も実施され、多くの皆さんが集まった。私も、笹寿司を求めたが、開店30分ほどで売り切れ、人気の高さがうかがえた。私は、旧佐藤医院で整体を

【koujiu】

▼高橋知事は、12月の第4回定例会で「地域と行政に熟知した私に与えられた使命」と述べ、事実上の4選出馬を表明し、1月4日出馬会券

を行った▼北海道は人口減少や超高齢社会で厳しい状況にさらされており、4選出馬の前に、3期12年を何をし、その結果北海道がどのようなになったかを自ら総括する必要があるのでないか。その事を道民に明らかにした上で4選出馬を検討するのが筋だと思う▼3期12年ではないことが4期目であることは到底思えないのだ▼厳しい時代からこそ、新しいリーダーのもと、新しい発想が必要と思うのは私だけだろうか。(ゆこう)